

肢体不自由ママ・パパのためのピアサポート



しゃべり場

ピアサポートとは・・・

「Peer（ピア）＝仲間」 ＋ 「Support（サポート）＝支える」活動のことです。
肢体不自由の方の子育てを支援するため、気軽に集まれ、おしゃべりできる交流の場を開催しました。

- ★日時 令和2年7月11日（土）
午後1時30分～3時
- ★場所 日進市障害者福祉センター
小会議室
- ★対象 肢体不自由で出産を控えている方、
子育てをしている方
- ★参加者 3名



◎ 今回のしゃべり場に出た話題

☆ 初参加の方

高校生と大学生のママ。
車いすバスケットをしている。

☆ 車を買替えた話

前の車は20年乗った。改造しないといけないから大仕事。
新しい車は座面が高く運転時の視界は広いけれど乗り降りが大変。
ハイブリット車は音が出ないし、車いすだと運転者から死角になるので
何度かぶつかったことがある。



☆ コロナウイルスの影響と学校

宿題が沢山出た。
生活科の植物の観察は土を渡され自宅で育てている。

☆ 学校のバリアの話

学校の授業参観や就学時健診の時、教室までのバリアにどう対応する？
学校に交渉したり、ママ友に手伝ってもらったりする。
中学生以上になると、先生が4人で持ち上げてくれたことがあった。
(男性教員が増えるからか、子どもに手がかからなくなるからか)
PTA等、やれることはやって、障害について知ってもらえるよう意識している。
名古屋市では車いすユーザーの保護者のために昇降機が付き、児童も通えるようになった
事例がある。

◎ 新たな周知先について検討

脊髄損傷のかたが出産することの多い病院や、車いすスポーツの練習場所はどうか
ということで、検討していくことになった。

※ 次回の『しゃべり場』

令和2年9月12日（土） 午後1時30分～3時 日進市障害者福祉センター